

News letter



一般社団法人
日本精神保健看護学会
Japan Academy of Psychiatric and Mental Health Nursing

第96号 | 2023年
5月1日

一般社団法人 日本精神保健看護学会 日本精神保健看護学会第 33 回学術集会・総会の開催にあたって

会長 船越 明子
(神戸市看護大学看護学部 精神看護学分野)

世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大は、世代による分断や社会的孤立、経済格差などの我が国が抱える課題の顕在化をもたらしました。これらの課題は、人々の心の健康に大きな影響を与えています。

私たちは、どのような状況に置かれても、自分らしく生きがいをもって生活できる地域共生社会を目指してきました。精神保健看護は、精神障害者や精神的不調を抱える人を含め、あらゆるライフステージの全ての人を対象として発展してきましたが、孤独や生きづらさを感じる人々へのさらなる貢献が期待されています。例えば、複合的課題を持つ世帯への支援や精神障害者の権利擁護は古くて新しい課題といえます。

あらゆる人の心の健康の保持と増進、および、精神障害者の社会参加の第一線を担ってきた精神保健看護が、多様な背景をもち、多様な環境にある人々を包摂する社会の実現に向けて貢献しようとする時、これまでの枠にとらわれずその対象と方法を大きく広げることが求められていると感じます。

新型コロナウイルス感染症の影響で2020年度よりオンライン開催となっておりましたが、第33回学術集会では、「精神保健看護がめざす多様性と包摂性の実現に向けて」をテーマに、会場とオンラインの両方を活用したハイブリッド形式での開催と致しました。主要企画は、トラウマインフォームドケア、ポジティブ心理学、ネット依存など今注目されている話題や精神科病院での看護を見つめなおすような講演およびシンポジウムとなっています。理事会企画では、自殺対策や精神的危機の対応に寄与するところの健康サポーターの養成に厚生労働省が力を入れていることをふまえて、我が国のメンタルヘルス関連政策と本学会の役割について取り上げることとなりました。

神戸市は、古代から港町として発展し、幕末の開港以降は国際貿易都市として多様な外国文化を取り入れつつ独自の文化を築いてきました。また、一瞬にして尊い命と街を破壊した1995年の阪神・淡路大震災から見事な復興を遂げ、震災から得た教訓や災害についての知識を広く発信し続けています。多様性を受け入れることへの寛容さと困難に立ち向かう力強さをもつこの街で、精神保健看護がめざす多様性と包摂性の実現にむけて、ともに考える機会にしたいと考えております。

ぜひ多くの皆様のご参加を頂き、活発な議論と交流ができれば幸いです。

With コロナの学術集会としてハイブリッド開催が主流となりましたが、実際に会場に足を運んで講演を聞いたり対面での交流をもったりすることで五感が刺激され、新たなひらめきにつながるように感じます。港町神戸で、皆様をお待ちしております。

日本精神保健看護学会第 33 回学術集会・総会のご案内

会 期

2023 年 5 月 13 日 (土)・14 日 (日)

オンデマンド配信

2023 年 5 月 25 日 (木) ~ 6 月 30 日 (金)

会 場

神戸国際会議場

会 長

船越 明子

(神戸市看護大学看護学部 健康生活看護学領域 精神看護学分野)

後 援

兵庫県

神戸市

一般社団法人日本看護系学会協議会

一般社団法人日本精神科看護協会

公益社団法人全国精神保健福祉会連合会

一般社団法人日本専門看護師協議会

公益社団法人日本精神保健福祉士協会

公益社団法人兵庫県看護協会

神戸新聞社

受付方法

種 別	当 日 の 受 付
参加申込をされた方	<ul style="list-style-type: none">・前期参加登録をされた方は事前にお送りする参加証を切り取り、受付までお持ちください。・後期参加登録をされた方は参加登録時の受付番号をお持ちください。 「プログラム集」をお渡しいたします。
当日受付をされる方	記名台に設置する「参加登録申込書」にご記入いただき、当日受付にて以下の参加費をお支払いください。 【当日受付参加費】 <ul style="list-style-type: none">・会 員：8,000 円・非 会 員：10,000 円・学部学生※：3,000 円 ※大学院生を除きます。学生証をご提示ください。 <ul style="list-style-type: none">・当事者・家族：1,000 円

詳しくは、学術集会ホームページをご確認ください。

<http://japmhn33.umin.jp/>



プログラム

◆メインプログラム

1 日目 9:40 ~ 10:20

第 1 会場 (メインホール)

会長講演

精神保健看護が目指す多様性と包摂性～生きづらさを抱える人たちに何ができるか～

演者 船越 明子 神戸市看護大学看護学部 教授
座長 萱間 真美 国立看護大学校

2 日目 9:20 ~ 10:30

第 1 会場 (メインホール)

特別講演

精神看護におけるトラウマインフォームドケアの視点

演者 亀岡 智美 公益財団法人ひょうご震災記念 21 世紀研究機構兵庫県こころのケアセンター
副センター長兼研究部長
座長 畦地 博子 高知県立大学 看護学部

1 日目 10:30 ~ 11:40

第 1 会場 (メインホール)

教育講演

ケアをするためのエネルギーチャージ - セルフ・コンパッション -

演者 秋山 美紀 埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科 教授
座長 宮本 有紀 東京大学大学院医学系研究科精神看護学分野

2 日目 10:40 ~ 11:50

第 1 会場 (メインホール)

招待講演

老いへの適応とウェルビーイングの実現

演者 増本 康平 神戸大学大学院人間発達環境学研究科 准教授
座長 遠藤 淑美 鳥取看護大学

1 日目 13:40 ~ 14:50

第 1 会場 (メインホール)

市民公開講座

スマホ時代の子どもたちのために～スマホ依存に焦点を当てて～

演者 竹内 和雄 兵庫県立大学環境人間学部 准教授
座長 森 千鶴 東京医療学院大学保健医療学部看護学科

2 日目 13:10 ~ 14:30

第 1 会場 (メインホール)

理事会企画

わが国のメンタルヘルス関連政策と日本精神保健看護学会の役割

シンポジスト	西 大輔	国立精神・神経医療研究センター (NCNP) / 東京大学大学院医学系研究科教授
	瀬戸屋 希	聖路加国際大学 教授
座長	安保 寛明	山形県立保健医療大学
	岡田 佳詠	国際医療福祉大学

1 日目 15:10 ~ 16:40

第 1 会場 (メインホール)

シンポジウム 1

精神科病棟の看護を考える - 患者虐待防止に向けて -

シンポジスト	前田 潔	神戸学院大学教授 / 神戸大学 名誉教授
	岡谷 恵子	元四天王寺大学学長補佐兼看護学部長
	林 亜衣子	神戸 AI 法律事務所
座長	吉浜 文洋	元佛教大学保健医療技術学部

2 日目 14:40 ~ 16:10

第 1 会場 (メインホール)

シンポジウム 2

社会的包摂の実現に向けて精神保健看護ができること - 孤独・孤立への支援 -

シンポジスト	小瀬古伸幸	訪問看護ステーションみのり 総括所長
	登坂 真代	手作りおやつ工房とさか 店主
	山本 裕子	認定特定非営利活動法人シェア = 国際保健協力市民の会・在日外国人支援事業担当
	森田久美子	立正大学社会福祉学部社会福祉学科 教授
座長	安保 寛明	山形県立保健医療大学

1 日目 12:10 ~ 13:10

第 1 会場 (メインホール)

ランチョンセミナー 1 共催: 住友ファーマ株式会社

知っておきたい統合失調症治療のための「貼り薬」の使い方 ~ ロナセンテープ適正使用で広がる治療可能性 ~

演者	高塩 理	昭和大学病院附属東病院精神神経科 准教授
	眞野美奈子	昭和大学附属烏山病院 看護師
座長	松田 光信	大阪公立大学大学院看護学研究科精神看護学領域

1 日目 12:10 ~ 13:10

第 2 会場 (501)

ランチョンセミナー 2 共催：株式会社中島映像教材出版

SDM（共同意思決定）とピアサポートは、とても相性が良い

演者	安保 寛明	山形県立保健医療大学 教授
	相川 章子	聖学院大学 教授
座長	中島 太一	中島映像教材出版

2 日目 12:00 ~ 13:00

第 2 会場 (501)

ランチョンセミナー 3 共催：シスメックス株式会社

精神保健看護におけるテレナーシングの可能性

演者	富山美由紀	医療法人社団ゆみの のぞみハートクリニック
	岡田 正規	ディピューラメディカルソリューションズ株式会社 代表取締役社長
座長	木戸 芳史	国立大学法人浜松医科大学

2 日目 12:00 ~ 13:00

第 3 会場 (502)

ランチョンセミナー 4 共催：株式会社ナガセ

国語力低下の原因と処方箋

演者	麻柄 真治	株式会社ナガセ（東進ハイスクール）ビジネススクール本部 顧問
----	-------	--------------------------------

◆ワークショップ

1 日目 10:30 ~ 12:00

第 4 ~ 6 会場 (503 / 504 · 505 / 401)

WS-01 ~ 03

WS-01 精神力動論を活用した精神看護の事例検討

小林 信^{1, 7)}, 八田 篤郎²⁾, 神澤 尚利^{1, 7)}, 須藤 公裕^{3, 7)}, 寺岡 征太郎^{4, 7)}, 寺田 美樹^{1, 7)}, 則村 良^{5, 7)}, 田上 美千佳⁶⁾

- 1) 東京医科大学医学部看護学科, 2) 医療法人尚生会湊川病院, 3) 医療法人交正会笠寺精治寮病院,
4) 帝京大学医療技術学部看護学科, 5) 医療法人財団青溪会駒木野病院, 6) 千葉大学大学院,
7) 精神看護ケア検討会事務局

WS-02 チーム医療における哲学対話の可能性

近田 真美子¹⁾, 西村 高宏²⁾

- 1) 福井医療大学, 2) 福井大学

WS-03 あなたはどうする？精神科病院で患者への虐待に気づいたら ~ケースメソッドを用いた事例検討~

手寫 大喜¹⁾, 的場 圭¹⁾, 三木 明子¹⁾, 矢山 壮¹⁾, 吉田 麻美¹⁾, 三井 督子²⁾, 齋藤 雄一³⁾

- 1) 関西医科大学 看護学部, 2) 明石こころのホスピタル, 3) 公益財団法人 浅香山病院

1 日目 13:20 ~ 14:50

第 5 ~ 7 会場 (504・505 / 401 / 402)

WS-04 ~ 06

WS-04 当事者・家族の視点から創出する「患者の権利憲章」～神出病院事件を防ぐための前提となる患者の権利～
小松 容子^{1, 2, 4)}, 中村 佳世²⁾, 徳田 和良²⁾, 木田 塔子^{3, 4)}

1) 宮城大学 看護学群, 2) 窓風の集い, 3) こころケアクリニック, 4) JAPMHN 権利擁護プロジェクト

WS-05 多様な人々と語ろう、精神保健看護学教育における共同創造の可能性

石村 佳代子¹⁾, 磯田 重行²⁾, 黒髪 恵³⁾, 石川 淳⁴⁾, 山崎 将展⁴⁾, 千々岩 友子⁵⁾

1) 国際医療福祉大学 小田原保健医療学部 看護学科, 2) 株式会社 リカバリーセンター, 3) 福岡大学 医学部 看護学科,
4) サポートセンターなかせ, 5) 東都大学 沼津ヒューマンケア学部 看護学科

WS-06 居場所がない子どもへのケア検討会

遠山 梓¹⁾, 吉武 慎治¹⁾, 遠藤 恵美²⁾, 湯浅 度恵³⁾, 長野 真澄⁴⁾

1) 地方独立行政法人 東京都立病院機構 東京都立小児総合医療センター, 2) 横浜市立大学附属市民総合医療センター,
3) 信州木曾看護専門学校, 4) 国立研究開発法人 国立国際医療研究センター 国府台病院

1 日目 15:10 ~ 16:40

第 2 ~ 3 会場 (501 / 502), 第 5 ~ 6 会場 (504・505 / 401)

WS-07 ~ 10

WS-07 リフレクティング・プロセスの実践的な学び

西池 絵衣子¹⁾, 末安 民生²⁾

1) 兵庫県立大学看護学部, 2) 佛教大学保健医療技術学部

WS-08 高度実践看護を推進する科学的臨床事例研究

松橋 美奈¹⁾, 宇佐美 しおり²⁾, 石飛 マリコ³⁾, 遠藤 恵美⁴⁾, 森本 早弥果¹⁾, 安永 薫梨⁵⁾, 山岡 由実⁶⁾

1) 四天王寺大学, 2) 四天王寺大学看護学部・看護実践開発研究センター, 3) 日本赤十字九州国際看護大学,
4) 公立大学法人 横浜市立大学附属市民総合医療センター, 5) 公立大学法人 福岡県立大学看護学部, 6) 大阪医科薬科大学 看護学部

WS-09 支援現場での傷付きへのセルフケア～ WRAP で広がる多様性と包摂性～

杉山 悠¹⁾, 浅井 陵²⁾, 佐藤 慎子³⁾, 吉永 宜之⁴⁾, 深田 尚子⁵⁾, 大慈 祐介⁶⁾

1) 医療法人明和会 琵琶湖病院, 2) 桐生市地域包括支援センター 思いやり 黒保根,
3) 地方独立行政法人 東京都立病院機構 東京都立松沢病院, 4) かえるこころの訪問看護ステーション,
5) 医療法人積仁会 岡部病院, 6) 千葉県農業共済組合連合会

WS-10 若手教員がつながる場を創る! ワールド・カフェ第 2 弾

- 看護師として多様な背景を持ちながら教員になっていく私たち -

大河内 敦子¹⁾, 森本 淳子²⁾

1) 帝京大学医療技術学部看護学科, 2) 神奈川県立保健福祉大学大学院

2 日目 9:20 ~ 10:50

第 5 会場 (504・505)

WS-11

WS-11 虐待が起きづらくなるにはどのようにすれば良いのか、共に学びましょう - インクルーシブ Cafe-
夫 博美¹⁾, 福田 久仁子²⁾, 福嶋 美貴³⁾, 片岡 三佳⁴⁾, 佐藤 寧子⁵⁾, 安保 寛明⁶⁾

- 1) 大阪信愛学院短期大学 看護学科, 2) 福山平成大学 看護学部 看護学科, 3) 金城学院大学 看護学部 看護学科,
4) 三重大学大学院 医学系研究科 看護学専攻, 5) 慶應義塾大学 SFC 研究所, 6) 山形県立保健医療大学 保健医療学部 看護学科

2 日目 11:05 ~ 12:35

第 5 ~ 7 会場 (504・505 / 401 / 402)

WS-12 ~ 14

WS-12 みんなで対話しよう! 権利擁護 - 神出病院事件を繰り返さないために -
守村 洋¹⁾, 石橋 佐枝子²⁾, 本武 敏弘³⁾, 安保 寛明⁴⁾

- 1) 札幌市立大学看護学部, 2) 敦賀市立看護大学看護学部, 3) 福岡女学院看護大学看護学部, 4) 山形県立保健医療大学

WS-13 地域定着のための高度看護実践家 (精神看護 CNS) による看護外来の実践

三井 督子¹⁾, 石田 正人²⁾, 高橋 寛光³⁾, 前田 愛⁴⁾, 春日 飛鳥⁵⁾, 田代 誠⁶⁾

- 1) 医療法人財団光明会明石こころのホスピタル, 2) 神奈川県立精神医療センター, 3) 東京都立松沢病院,
4) 昭和大学附属鳥山病院, 5) 日下部記念病院, 6) 神奈川工科大学

WS-14 コミュニケーションについて感じていることを話そう

- コロナ禍での臨床、教育現場においてマインドフルに、そしてアサーティブに話し、聴こう

松浦 彩美¹⁾, 根本 友見²⁾, 重田 ちさと¹⁾

- 1) 順天堂大学 医療看護学部 精神看護学, 2) 国際医療福祉大学 成田看護学部 看護学科

2 日目 12:50 ~ 14:20

第 5 ~ 6 会場 (504・505 / 401)

WS-15 ~ 16

WS-15 隔離や身体拘束を受けた患者との対話 - 私たちはどこまで理解しているのか -

三宅 美智¹⁾, 畠山 卓也²⁾, 渡辺 純一³⁾

- 1) 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所, 2) 駒沢女子大学, 3) 井之頭病院

WS-16 身体合併症をもつ精神科入院患者が、身体科病院で円滑に治療を受けるためにどのように連携できるか:
精神科・身体科の看護師、精神科医の経験をもとに

千葉 理恵¹⁾, 梅田 麻希²⁾, 石田 祐樹³⁾, 西脇 可織⁴⁾, 橋本 健志⁵⁾, 木戸 芳史⁶⁾, 廣田 美里^{5, 7)},
林 佑太⁷⁾, 梶原 友美⁷⁾, 野津 美由紀³⁾, 山口 玲子³⁾

- 1) 京都大学大学院 医学研究科, 2) 兵庫県立大学 地域ケア開発研究所, 3) 社会医療法人 寿栄会 ありまこうげんホスピタル,
4) 小牧市民病院 看護局, 5) 神戸大学大学院 保健学研究科 リハビリテーション科学領域, 6) 浜松医科大学 医学部 看護学科,
7) 神戸大学大学院 保健学研究科 看護学領域

2 日目 14:40 ~ 16:10

第 2 ~ 3 会場 (501 / 502), 第 5 会場 (504・505)

WS-17 ~ 19

- WS-17** ポジティブ感情を向上させる創作フラダンス（健康フラ・介護フラ）をみんなで踊ろう
秋山 美紀¹⁾, 栗原 志功²⁾, 指田 陸生²⁾, 森田 牧子¹⁾, 江口 のぞみ¹⁾, 小川 千恵子¹⁾, 木村 諭志¹⁾
1) 埼玉県立大学 保健医療福祉学部 看護学科, 2) 一般社団法人健康フラ・介護フラ協会
- WS-18** パーソナルリカバリー支援のためのアクセプタンス & コミットメント・トレーニングを体験しよう
加藤 宏公¹⁾, 柳澤 博紀²⁾, 奥村 英雄²⁾
1) 愛知県立大学 看護学部, 2) 医療法人桜桂会 犬山病院
- WS-19** 事例検討と開かれていくケア - 希望を失わない力 -
末安 民生¹⁾, 西池 絵衣子²⁾, 竹林 令子³⁾, 吉浜 文洋⁴⁾
1) 佛教大学保健医療技術学部, 2) 兵庫県立大学看護学部, 3) 杏林大学保健学部, 4) 元佛教大学保健医療技術学部

◆一般演題（口演）

1 日目 10:30 ~ 11:40

第 3 会場 (502)

一般演題発表（口演）第 1 群 病棟看護

座長：片岡 三佳（三重大学）

河野 由理（藍野大学）

- O-11** うつ病を主体とした入院治療の有効性について患者の愛着スタイルの変容からの一考察
○行武 亜由子, 高田 和秀
医療法人社団新光会不知火病院
- O-12** 精神科病院における認知症患者の行動制限最小化の取り組み ~ニーズを満たす心地よいケアの実践~
○鶴屋 邦江, 松永 春樹
医療法人 実風会新生病院
- O-13** 医療観察法病棟内での多職種チーム（MDT）と看護チームとの連携におけるプライマリーナースの困難と支援
○片山 友理子¹⁾, 戸田 由美子²⁾, 兒玉 善明³⁾, 加藤 宏公³⁾, 山田 浩雅³⁾
1) 愛知県立大学大学院 看護学研究科 博士前期課程, 2) 前愛知県立大学看護学部, 3) 愛知県立大学 看護学部
- O-14** 統合失調症者が安心を得られるための急性期病棟における看護師の関わり
○望月 花¹⁾, 大川 嶺子¹⁾, 上里 さとみ²⁾, 仲本 勉¹⁾
1) 沖縄県立看護大学, 2) 元沖縄県立看護大学

1 日目 13:40 ~ 14:50

第 2 会場 (501)

一般演題発表 (口演) 第 2 群 リエゾン

座長: 金子 眞理子 (和洋女子大学)

河野 伸子 (国家公務員共済組合連合会横須賀共済病院)

- 0-21** 四大疾患に併発するうつ・不安の重度化予防に対する看護介入の文献検討
○森本 早弥果¹⁾, 宇佐美 しおり²⁾
1) 四天王寺大学看護学部, 2) 四天王寺大学看護学部・看護実践開発研究センター
- 0-22** がん患者の抑うつ状態の重度化予防のための看護介入に関する文献検討
○松橋 美奈¹⁾, 宇佐美 しおり²⁾
1) 四天王寺大学看護学部, 2) 四天王寺大学看護学部・看護実践開発研究センター
- 0-23** うつ病の家族心理教育の効果: 系統的レビューとメタアナリシス
○香月 富士日
名古屋市立大学大学院看護学研究科
- 0-24** オンライン CREW プログラムが労働者のメンタルヘルスと職場のソーシャルキャピタルに与える影響: 前後比較研究
○澤田 宇多子, 宮本 有紀
東京大学大学院医学系研究科 健康科学・看護学専攻 精神看護学分野

1 日目 13:20 ~ 14:45

第 3 会場 (502)

一般演題発表 (口演) 第 3 群 地域

座長: 石川 かおり (岐阜県立看護大学)

鈴木 啓子 (名桜大学)

- 0-31** 一人暮らしの高齢精神障害者にかかわる訪問看護師の経験: 対人関係の構築に焦点をあてて
○藤本 法子
日本赤十字看護大学 大学院 博士後期課程
- 0-32** 精神科訪問看護における身体合併症を有する利用者へのケア内容及び困難に関する文献検討
○古場 郁乃¹⁾, 船越 明子²⁾, 瀬戸屋 希³⁾
1) 神戸市看護大学大学院 看護学研究科, 2) 神戸市看護大学 看護学部, 3) 聖路加国際大学 看護学部
- 0-33** 「渡辺式」家族アセスメント / 支援モデルを実践した精神科訪問看護ステーションのスタッフの体験
○岡本 史彦¹⁾, 進 あすか¹⁾, 小瀬古 伸幸¹⁾, 木下 将太郎¹⁾, 藪田 歩¹⁾, 磯野 洋一²⁾
1) 訪問看護ステーションみのり, 2) 金城学院大学
- 0-34** 迷惑行為・他害行為のある精神科訪問看護利用者に対するケア内容及び困難に関する文献検討
○松井 芽衣子¹⁾, 高橋 妙理¹⁾, 船越 明子²⁾, 瀬戸屋 希³⁾
1) 聖路加国際大学 大学院 看護学研究科, 2) 神戸市看護大学 看護学部, 3) 聖路加国際大学 看護学部
- 0-35** 精神分野における地域包括ケアに従事する看護師の対話を重視した教育の方法と検証
- 第 2 報 -
○西池 絵衣子¹⁾, 末安 民生²⁾
1) 兵庫県立大学看護学部, 2) 佛教大学保健医療技術学部

1 日目 13:20 ~ 14:30

第 4 会場 (503)

一般演題発表 (口演) 第 4 群 児童思春期

座長: 香月 富士日 (名古屋市立大学)

岡部 英子 (大阪府立病院機構大阪精神医療センター)

0-41 看護実践能力の向上のためのコンピテンシーモデルを発展させたクリニカルラダーの作成

- 児童・思春期精神科の人材育成に向けた教育基盤の再構築を図る

○山崎 久仁子, 中村 清美, 松本 さおり

三重県立子ども心身発達医療センター

0-42 クロザピン治療を受ける自閉症スペクトラム障害をもつ入院患者への服薬支援の実際

~服薬継続においてプライマリナースが大事にしていること~

○二宮 丈大¹⁾, 岸美 智子¹⁾, 菅井 玲央¹⁾, 岡本 亜紀²⁾

1) 地方独立行政法人 岡山県精神科医療センター, 2) 岡山大学学術研究院保健学域看護学分野

0-44 児童・思春期精神科病棟における統一した視点をもったケアの提供に向けた行動指標

~『子どものかかわりき・ほ・んの「き」』~

○須崎 和広

医療法人財団 光明会 明石こころのホスピタル

0-45 公立小学校で働く教員と精神疾患をもつ児童との関わりに関する事例報告

○小林 雅美, 小宮 浩美, 加藤 隆子

千葉県立保健医療大学 健康科学部 看護学科

2 日目 9:20 ~ 10:30

第 2 会場 (501)

一般演題発表 (口演) 第 5 群 支援者

座長: 高野 歩 (東京医科歯科大学)

戸田 由美子 (前愛知県立大学)

0-51 精神科看護師のワーク・エンゲイジメントに関するスコーピングレビュー

○向畑 毅¹⁾, 加藤 優一²⁾, 諏訪 敏幸³⁾, 藤本 浩一¹⁾

1) 兵庫医科大学 看護学部 看護学科, 2) 兵庫県立ひょうごこころの医療センター看護部, 3) 大阪大学 医学部 保健学科

0-52 ケアマネジャーの独居高齢者への支援の難しさとの離職意思の関連

○中井 寿雄

金沢医科大学看護学部

0-53 精神科デイケアに従事する専門職が抱える困難の実態

○菅原 大輔¹⁾, 渡部 菜穂子²⁾

1) 弘前学院大学 看護学部 看護学科, 2) 弘前医療福祉大学 保健学部 看護学科

0-54 急性期患者の身体的拘束の早期解除に向けて精神科中堅看護師が感じた困難と対処

○関口 瑛里¹⁾, 船越 明子¹⁾, 藤本 浩一²⁾, 山岡 由実³⁾

1) 神戸市看護大学 看護学部, 2) 兵庫医科大学看護学部, 3) 大阪医科薬科大学 看護学部

2 日目 10:40 ~ 11:50

第 4 会場 (503)

一般演題発表 (口演) 第 6 群 精神科治療

座長: 多喜 田恵子 (岐阜保健大学)

小山 達也 (聖路加国際大学)

O-61 服薬中断にて再発した統合失調症をもつ人の服薬継続までの変化

○後藤 哲哉¹⁾, 戸田 由美子²⁾, 山田 浩雅³⁾, 加藤 宏公³⁾, 兒玉 善明³⁾

1) 社会医療法人聖泉会 聖十字病院, 2) 前愛知県立大学看護学部, 3) 愛知県立大学 看護学部

O-62 長期入院の慢性期統合失調症者に対する音楽療法の効果について - 脳血流からの検討 -

○矢野 優¹⁾, 三上 章允²⁾, 三代澤 邦恵¹⁾, 杉浦 浩子¹⁾

1) 岐阜医療科学 大学看護学部 看護学科, 2) 中部学院大学 人間福祉学研究科

O-63 精神科入院経験者との協働 (患者市民参画) による精神科入院ケア認識尺度 (ViewsonInpatientCare:VOICE) 日本語版の開発

○宮本 有紀¹⁾, 小竹 理紗¹⁾, 新村 朋子²⁾, 常本 (倉田) 真奈美³⁾, 澤田 宇多子¹⁾, 大津 絵美子⁴⁾, 西 大輔⁵⁾

1) 東京大学大学院医学系研究科精神看護学分野, 2) なし, 3) さかつる WRAP, 4) 医療法人社団欣助会 吉祥寺病院, 5) 東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野

O-64 薬物使用障害をもつ女性の妊娠から子育てにともなう当事者視点の経験と思い

○十倉 絵美, 川村 晃右, 小西 奈美, 松本 賢哉

京都橘大学

2 日目 13:10 ~ 14:35

第 4 会場 (503)

一般演題発表 (口演) 第 7 群 統合失調症

座長: 富川 順子 (大阪公立大学大学院)

井上 幸子 (岡山県立大学)

O-71 統合失調症をもつ人の精神健康における困難から立ち上がるきっかけや支えに関する質的研究

○北條 理子, 宮本 有紀, 澤田 宇多子

東京大学大学院 医学研究科 健康科学・看護学専攻 精神看護学分野

O-72 統合失調症をもつ人の母親が抱く希望とその変化

○福水 和花那¹⁾, 川田 美和²⁾

1) 九州大学病院, 2) 兵庫県立大学 看護学部

O-73 地域で暮らす統合失調症をもつ人の PersonalMedicine

○西田 祐紀, 片岡 三佳

三重大学大学院 医学系研究科 看護学専攻

O-74 入院歴のある地域で暮らす統合失調症者が体験する孤独

○中井 理賀¹⁾, 片岡 三佳¹⁾, 大江 真人²⁾

1) 三重大学大学院医学系研究科看護学専攻, 2) 金沢医科大学看護学分野

O-75 統合失調症の子を持つ親のリハビリとその関連要因

○高木 みちる, 香月 富士日

名古屋市立大学大学院 看護学研究科

◆一般演題（オンデマンド発表）

オンデマンド

一般演題 オンデマンド発表

- P-01** シミュレーションの教育方法を用いた精神看護学の演習における学修成果と課題
○多田 羅光美, 土岐 弘美
香川県立保健医療大学 保健医療学部 看護学科
- P-02** 当事者参加型演習において学生が着目したりカバリーの視点 - 計量テキスト分析による学生レポートの内容分析
○渋谷 友紀, 守村 洋, 伊東 健太郎
札幌市立大 看護学部
- P-03** 本邦の看護学生を対象としたアサーションの研究動向
○藤井 隆行
広島都市学園大学 健康科学部看護学科
- P-04** 新型コロナウイルス感染拡大期における精神看護学実習において学生が捉えた精神科医療の課題
○大江 真人¹⁾, 片岡 三佳²⁾, 田村 裕子²⁾
1) 金沢医科大学 看護学部, 2) 三重大学大学院医学系研究科看護学専攻
- P-05** COVID-19 蔓延下における精神看護学実習の学内実習
- ロールプレイの映像・音声を収録・再生を用いた振り返り学習の取り組み -
○夫 博美, 高橋 篤信
大阪信愛学院短期大学 看護学科
- P-06** 看護大学生の自己効力感に関する質的調査研究
○仲本 勉
公立大学法人 沖縄県立看護大学 看護学部 看護学科
- P-07** 看護学生のセルフコンパッションを高めるための看護基礎教育実践の検討
○井田 裕子, 浅原 佳紀
山陽学園大学 看護学部 看護学科
- P-08** 看護学生の抱える生きづらさ
○一釣 葵衣¹⁾, 川上 朝陽²⁾, 山村 萌々³⁾, 永江 誠治⁴⁾
1) 九州大学病院, 2) 熊本大学, 3) 東京医科歯科大学病院, 4) 長崎大学
- P-09** 通所施設に通う発達障害児の親の子どもへの行動に着目した関わりと抑うつとの関連
○山口 珠穂, 井上 幸子
岡山県立大学
- P-10** 知的障害児・者のきょうだいが抱える困難と求める支援
○高橋 千穂¹⁾, 小原 育子^{1, 2)}, 米山 奈奈子^{1, 2)}
1) 秋田大学 医学部 保健学科, 2) 秋田大学大学院 医学系研究科 保健学専攻
- P-11** COVID-19 感染症流行下における児童発達支援および放課後等デイサービスを利用している児童の精神状態の変化に対するアンケート調査
○高木 幸子¹⁾, 児玉 豊彦²⁾
1) なし, 2) 産業医科大学 産業保健学部

- P-12** 精神疾患をもつ当事者や家族の心的外傷後成長（Posttraumaticgrowth;PTG）に関する文献検討
○松田 陽子^{1, 2)}, 香月 富士日²⁾, 萩 典子³⁾, 大西 信行¹⁾, 永住 沙樹¹⁾
1) 四日市看護医療大学 看護学科, 2) 名古屋市立大学大学院看護学研究科, 3) 鈴鹿医療科学大学 看護学部 看護学科
- P-13** ト라우マ体験のある女性の苦悩と回復に至る体験 -Aさんの事例を通して -
○加藤 隆子¹⁾, 渡辺 尚子²⁾, 渡辺 純一³⁾
1) 千葉県立保健医療大学 健康科学部 看護学科, 2) 東邦大学 健康科学部 看護学科, 3) 公益財団法人 井之頭病院
- P-14** 「リカバリー」を実装する - 訪問看護に「SAMHSA'sWORKINGDEFINITIONOFFRECOVERY」を取り入れる試み -
○村中 晶^{1, 2)}, 木下 直子¹⁾, 増川 ねてる^{1, 3)}
1) 訪問看護ステーション CoCo+, 2) 天理医療大学, 3) 明治大学サービス創新研究所
- P-15** がんを合併した統合失調症患者に必要な知識とケアの実践
○荒井 春生
京都光華女子大学健康科学部看護学科
- P-16** 精神障害者の意思を尊重した支援場面に関する文献検討
○加藤 勇人, 石田 祐樹
ありまこうげんホスピタル
- P-17** 精神科看護師の不安と心的安全空間生成との関連に関する文献検討
○安永 薫梨¹⁾, 宇佐美 しおり²⁾
1) 福岡県立大学看護学部, 2) 四天王寺大学看護学部・看護実践開発研究センター
- P-18** 看護職員のワーク・エンゲイジメントと看護師長のリーダーシップおよび職業性ストレスの関連構造方程式モデリングによる検討
○高谷 新¹⁾, 安保 寛明¹⁾, 佐藤 大輔²⁾, 新宮 洋之³⁾
山形県立保健医療大学 保健医療学部 看護学科, 東北文化学園大学 医療福祉学部 看護学科, 3) いちまる訪問看護ステーション
- P-19** 中小企業労働者における生活習慣と抑うつ度との関連
○浜本 さいか, 井上 幸子
岡山県立大学大学院 保健福祉学研究科 看護学専攻
- P-20** うつ病をもつ人における自殺再企図の経験
○安達 寛人¹⁾, 長谷川 雅美²⁾
1) 新潟県立看護大学 看護学部 看護学科, 2) 富山福祉短期大学 看護学専攻科
- P-21** 地域で生活する統合失調症者の人生経験からとらえる SenseofCoherence に関する検討
○蔵本 綾¹⁾, 渡邊 久美¹⁾, 長尾 みゆき²⁾
1) 香川大学 医学部 看護学科, 2) 元香川大学医学部附属病院 看護部
- P-22** 地域への移行期にある精神障がい者に対する訪問看護師の支援者間での連携の実態
○樫葉 雅人¹⁾, 仁木 崇之²⁾, 村田 竜介²⁾, 川村 晃右³⁾, 早川 博子¹⁾, 山本 明弘¹⁾
1) 和歌山県立医科大学 保健看護学部, 2) 和歌山県立こころの医療センター, 3) 京都橋大学 看護学部
- P-23** 地域で生活する精神障害者に対する看護職によるアウトリーチサービスのアウトカム指標の文献検討
○榊 美樹¹⁾, 船越 明子²⁾, 高橋 妙理³⁾, 古場 郁乃⁴⁾, 瀬戸屋 希¹⁾, 萱間 真美⁵⁾
1) 聖路加国際大学 看護学部, 2) 神戸市看護大学 看護学部, 3) 聖路加国際大学大学院 看護学研究科,
4) 神戸市看護大学大学院 看護学研究科, 5) 国立看護大学校

P-24 日本語版 RSA-R（利用者用）の信頼性と妥当性の検証

○鈴木 龍生^{1, 5)}, 宮本 翔平²⁾, 佐藤 大輔³⁾, 高谷 新¹⁾, 廣田 みき⁴⁾, 安保 寛明¹⁾

1) 山形県立保健医療大学 保健医療学部 看護学科, 2) 秋田大学 自殺予防総合研究センター,
東北文化学園大学 医療福祉学部 看護学科, 一般社団法人 Amor 訪問看護ステーション 木の花,
5) いちまる訪問看護ステーション

P-25 障害福祉サービス事業所で働く精神障害をもつピアサポーターの活動の継続に関する要因

○上里 さとみ¹⁾, 大川 嶺子²⁾, 仲本 勉²⁾, 望月 花²⁾

1) 元沖縄県立看護大学, 2) 沖縄県立看護大学

P-26 訪問看護ステーションにおける精神障害者支援と精神科病棟勤務経験の有無

○守脇 富美¹⁾, 三徳 和子²⁾, 加藤 由加³⁾

1) ペガサス大阪南看護学校, 2) なし, 3) 藍野大学短期大学部専攻科

P-27 精神科訪問看護における4カ月間の活用を通じた「文化的感受性を備えたりカバリー志向の地域精神看護援助モデル」の評価

○松岡 純子, 丸本 典子, 堀川 容岐

甲南女子大学 看護リハビリテーション学部

P-28 メンタルヘルスの課題を抱える人のつながりの構築～支援者が行ったネットワークの構築に焦点をあてて～

○藤代 知美¹⁾, 塩見 理香¹⁾, 高橋 真紀子¹⁾, 稲垣 佳代²⁾

1) 高知県立大学看護学部, 2) 高知県立大学社会福祉学部

P-29 刑務所出所者・医療観察法対象者の地域生活支援に向けた支援者研修の実際

○船山 健二

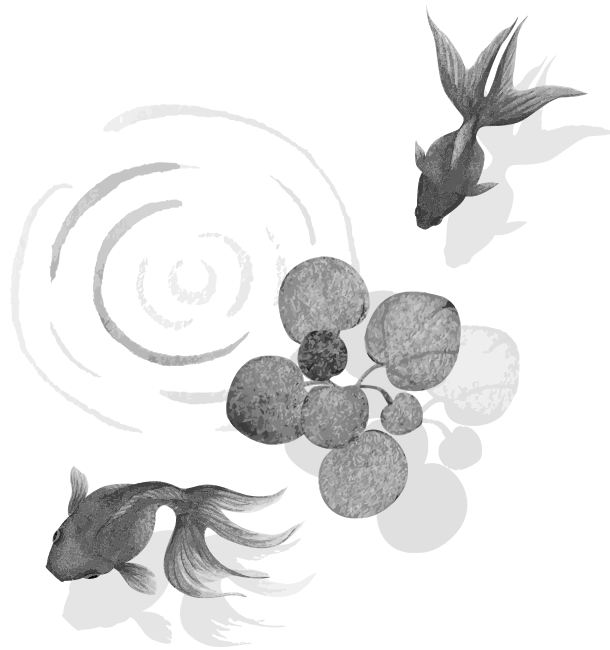
新潟県立看護大学 精神看護学

P-30 北海道の過疎地域における精神障害者の支援～精神科訪問看護師の支援に焦点をあてて～

○伊東 健太郎

札幌市立大学 看護学部





News letter

編集後記

一般社団法人日本精神保健看護学会第5期の広報・情報委員会が担当するニュースレターはこの96号が最後となります。と同時に、ニュースレターPDF版の発行も今回が最後です。今後はより会員の皆様にタイムリーに情報をお届けできるよう、e-Mail ニュースレターに移行します。

ニュースレターを手に取る会員の皆様のお顔を思い浮かべながら、十分な情報発信ができていたのだろうか、と不安になることもありましたが、このニュースレターは、会員の皆様と繋がることのできる貴重なツールだといつも感じていました。「e-Mail ニュースレター」へと形は変わっていきますが、会員の皆様と繋がることのできるツールであることには変わりありません。次期の広報・情報委員会から配信される「e-Mail ニュースレター」を、皆様とともに楽しみに待っていたと思います。

(寺岡)

広報・情報委員会

寺岡征太郎 (帝京大学)

神澤 尚利 (東京都立大学)

中戸川早苗 (北里大学)

永江 誠治 (長崎大学)

瀧 めぐみ (金沢医科大学病院)

(お問い合わせ) メールアドレス : japmhn.pr@gmail.com



本会ホームページ



Twitter



Facebook

(一社) 日本精神保健看護学会事務局 : 〒 100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1 パレスサイドビル

TEL:03-6267-4550 FAX:03-6267-4555 E-mail:maj-japmhn@mynavi.jp